

行政事業レビューシート (環境省)

事業名	地球環境保全試験研究費等	担当部局庁	地球環境局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度・(終了予定なし)	担当課室	総務課研究調査室	室長 松澤 裕			
会計区分	一般会計	施策名	2-3 地球環境保全に関する調査研究				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	環境省設置法第4条第3号	関係する計画、通知等	京都議定書目標達成計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地球環境保全試験研究費(H13年度～) →地球温暖化問題の解決に資する科学的知見の集積を通じ、行政課題の解決を科学的側面から支援するもの。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	関係行政機関及び関係行政機関の試験研究機関が実施する地球環境の保全に関する試験研究について、効率的かつ総合的な試験研究計画等の推進を図るため、環境省設置法第4条第3号の規定に基づき、関係予算を一括計上し、予算成立後関係行政機関へ移し替えることにより、試験研究の一元的推進を図るもの。 本事業における研究は、中長期的視点も踏まえ、計画的・着実に進めるべきものであり、観測結果等の成果は、地球温暖化対策をはじめ地球環境政策の立案・実施に科学的基盤を与えるものである。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	305	316	314	302	272
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	305	316	314	302	272
	執行額	303	307	310	—	—	
執行率(%)	99%	97%	99%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (各年度)
	終了翌年度に実施する事後評価(5点満点)で4点以上を獲得した課題数(4点以上の課題数/全評価対象課題数)	成果実績	% (上位2段階の課題数/全評価対象課題数)	0% (0/3)	75% (3/4)	100% (1/1)	50%以上
		達成度	%	0%	100%	100%	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	モニタリング研究課題数	活動実績 (当初見込み)	件	15	12	12 (12)	— (13)
単位当たりコスト	H20:20.3(千円/課題) H21:26.3(千円/課題) H22:25.9(千円/課題)	算出根拠	単位当たりコスト=予算額/研究開発課題数				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	試験研究調査委託費	263	232	政府の要求方針に従い、一層の効率化を図り、外部評価委員による事前・中間評価結果に基づき、必要最低限の予算に削減等を行った新規研究課題を要求するとともに継続の個別研究課題をそれぞれ削減し、要求したため。			
	試験研究費	36	35				
	職員旅費	3	5				
計	302	272					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>持続的な地球環境モニタリングは、地味ではあるが、我が国の国際貢献の最主要の分野の一つであり、本事業は、長期継続モニタリングの一翼を担い、国際貢献も多大である。 本事業は、事業開始前の「事前評価」、事業中間年の「中間評価」、事業終了後の「事後評価」を利害関係者を排除した外部評価委員による厳正な評価を実施している。 特に事前評価、中間評価の際には、評価結果をふまえ、研究課題毎の予算を増減させ、メリハリのある事業実施をしている。 このような厳正な評価を引き続き行う。 例えば、H22年度中間評価の場合、3課題の評価があり、そのうち、評点が2.67/5(53%)である課題については、前年度の-10%としている。その一方、評点が4/5(80%)である課題については、前年同としている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	引き続き、事前評価、中間評価、事後評価を実施し、効率的かつ効果的に予算を執行する必要がある。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>本経費は地球温暖化問題の解決に資する科学的知見の集積を通じ、行政課題の解決を科学的側面から支援を行うという重要な経費であり、課題の採択にあたっては外部評価委員の審査を受け、研究内容のみならず経費の透明性・効率性を高めているところであるが、政府の要求方針に従い、一層の効率化を図ることとした。</p>		
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p>地球環境保全試験研究費(地球一括計上)の概要について http://www.env.go.jp/earth/kenkyuhi/index.html</p>			

※平成22年度実績を記入

環境省
310百万円

地球環境保全試験研究費
【内容】
地球環境保全に関わる関係行政機関の試験研究機関の経費及び関係行政機関の試験研究委託費のうち地球温暖化問題の解決を主たる目的とする経費を一括して計上。
応募のあった研究課題の中から、外部専門家からなる地球環境研究企画委員会の評価に基づき、課題の選定及び当該経費の配分の策定が行われる。

※地球環境研究計画策定等経費は、地球環境権旧企画委員会の開催等に要した謝金、委員等旅費、庁費。
※端数の関係で他省庁移替とAの合計が310百万円とならない。

【公募/委託】

A. (独) 国立環境研究所
200百万円

【予算の移替】

厚生労働省 14百万円
農林水産省 42百万円
経済産業省 7百万円
国土交通省 46百万円

平成22年度地球環境保全試験研究費による研究委託業務
【業務内容】
①民間航空機を活用したアジア太平洋域上空における温室効果期待の観測
②アジア陸域炭素循環観測のための長期生態系モニタリングとデータのネットワーク化促進に関する研究
③タワー観測ネットワークを利用したシベリアにおけるCO2とCH4収支の推定
④アジア・オセアニア域における微量温室効果ガスの多成分長期観測
⑤海洋表層CO2分圧観測データ利用促進と太平洋域の変動解析
⑥東アジアにおけるハロカーボン排出実態解明のための高精度・高精度モニタリング研究
⑦二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究
⑧日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究

【国立研究所実施】
試験研究旅費：1百万円
外国旅費：2百万円
試験研究費：37百万円

【公募・委託費】
農水省：(独) 農業環境技術研究所 3百万円
(独) 森林総合研究所 39百万円
経産省：(独) 産業技術総合研究所 7百万円
国交省：(独) 海上技術安全研究所 19百万円
国立大学法人北海道大学 0.3百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が行っているかについて補足する)(単位:百万円)

【外注/特命随契】

B. (株) ジャムコ
22百万円

【業務内容】
航空機搭載用温室効果期待観測装置の整備

【外注/特命随契】

C. (株) 日本航空インターナショナル
9百万円

【業務内容】
航空機への観測装置搭載搬出作業及び主導サンプリング装置による試験観測

【外注/一般競争入札】

D. (財) 地球人間環境フォーラム
13百万円

【業務内容】
シベリアにおけるモニタリングシステムの維持管理

【外注/随契】

E. (財) 地球人間環境フォーラム
3百万円

【業務内容】
東南アジア航路での大気中のサンプリングや観測業務

【外注/随契】

F. (財) 日本水路協会
1百万円

【業務内容】
大気・海洋観測で得られたデータの計算処理、確定及びデータの公開作業を行うための支援

【外注/随契】

G. (財) 地球人間環境フォーラム
1百万円

【業務内容】
太平洋の広い地域でのサンプリングを行うため、船に載せた機材を維持、メンテナンス業務

【外注/随契】

H. (財) 地球人間環境フォーラム
1百万円

【業務内容】
船の航路変更のため、別の船に観測システムを乗せ替える業務

【外注/随契】

I. (財) 地球人間環境フォーラム
2百万円

【業務内容】
太平洋の広い地域でのサンプリングを行うため船に載せた機材を維持、メンテナンスする業務

【外注/随契】

J. 国立大学法人名古屋大学
1百万円

【業務内容】
二酸化炭素の全球収支解明のため、大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究業務

【外注/随契】

K. 国立大学法人静岡大学
1百万円

【業務内容】
苗場山に設置されている観測装置の保守及びデータ回収業務

費目・使途 ("資金の流れ") においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. (独)国立環境研究所			F.(財)日本水路協会		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	高度技能専門員、ポスドクフェロー	47	雑役務費	大気・海洋観測で得られたデータの計算処理、確定及びデータの公開作業を行うための支援	1
	旅費	国内旅費、外国旅費、外国人招聘旅費	2	計		1
	備品	土壌採取道具、真空ポンプ等	9	G. (財)地球人間環境フォーラム		
	消耗品	ガス類、データ処理消耗品等	33	費目	使途	金額 (百万円)
	賃金	大気資料分析、データ整理、分析等補助	15	雑役務費	太平洋の広い地域でのサンプリングを行うため船に載せた機材を維持、メンテナンスする業	1
	雑役務費	分析業務等	6	計		1
	外注費	(株)ジャムコ、(株)日本航空インターナショナル、(財)地球人間環境フォーラム、(財)日本水路協会、名古屋大学、静岡大学 ※端数処理の関係でB~Kの足し上げと一致しない。	55	H. (財)地球人間環境フォーラム		
	その他	通信運搬費、借料及び損料、一般管理費、消費税	33	費目	使途	金額 (百万円)
	計		200	雑役務費	船の航路変更のため、別の船に観測システムを乗せ替える業務	1
	B. (株)ジャムコ			計		1
	費目	使途	金額 (百万円)	I. (財)地球人間環境フォーラム		
	雑役務費	航空機搭載用温室効果期待観測装置の整備	22	費目	使途	金額 (百万円)
	計		22	雑役務費	太平洋の広い地域でのサンプリングを行うため船に載せた機材を維持、メンテナンスする業	2
	C.(株)日本航空インターナショナル			計		2
	費目	使途	金額 (百万円)	J.国立大学法人名古屋大学		
	雑役務費	航空機への観測装置搭載搬出作業及び主導サンプリング装置による試	9	費目	使途	金額 (百万円)
	計		9	雑役務費	大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究業務	1
	D.(財)地球人間環境フォーラム			計		1
	費目	使途	金額 (百万円)	K.国立大学法人静岡大学		
	雑役務費	モニタリングシステムの維持管理	13	費目	使途	金額 (百万円)
	計		13	雑役務費	観測装置の保守及びデータ回収作業	1
	E.(財)地球人間環境フォーラム			計		1
	費目	使途	金額 (百万円)			
	雑役務費	東南アジア航路での大気のサンプリングや観測業務	3			
	計		3			

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)国立環境研究所	①民間航空機を活用したアジア太平洋域上空における温室効果期待の観測 ②アジア陸域炭素循環観測のための長期生態系モニタリングとデータのネットワーク化促進に関する研究 ③タワー観測ネットワークを利用したシベリアにおけるCO2とCH4収支の推定 ④アジア・オセアニア域における微量温室効果ガスの多成分長期観測 ⑤海洋表層CO2分圧観測データ利用促進と太平洋域の変動解析 ⑥東アジアにおけるハロカーボン排出実態解明のための高頻度・高精度モニタリング研究 ⑦二酸化炭素の全球収支解明のための大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究 ⑧日本における森林土壌有機炭素放出に及ぼす温暖化影響のポテンシャル評価に関する研究	200	競争的資金	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ジャムコ	航空機搭載用温室効果期待観測装置の整備	22	随意契約	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日本航空インターナショナル	航空機への観測装置搭載搬出作業及び主導サンプリング装置による試験観測	9	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球人間環境フォーラム	シベリアにおけるモニタリングシステムの維持管理	13	1	98%

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球人間環境フォーラム	東南アジア航路での大気のサンプリングや観測業務	3	随意契約	—

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本水路協会	大気・海洋観測で得られたデータの計算処理、確定及びデータの公開作業を行うための支援	1	随意契約	—

G.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球人間環境フォーラム	太平洋の広い地域でのサンプリングを行うため船に載せた機材を維持、メンテナンスする業務	1	随意契約	—

H.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球人間環境フォーラム	船の航路変更のため、別の船に観測システムを乗せ替える業務	1	随意契約	—

I.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)地球人間環境フォーラム	船の航路変更のため、別の船に観測システムを乗せ替える業務	2	随意契約	—

J.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人名古屋大学	大気中酸素及び炭素同位体の長期観測研究業務	1	特命随契	—

K.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国立大学法人静岡大学	観測装置の保守及びデータ回収作業	1	随意契約	—

